

施 策：	24	快適な生活環境の促進	財務コード	01040107-02-319
基本事業：	03	生活環境に関する害の減少	担当部	環境経済部
基本事業の 成果指標	苦情及び相談件数（騒音・振動、悪臭） 苦情及び相談件数（草木の繁茂等）		担当課	環境課
			担当係	環境保全



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民・事業所			■大気汚染測定 ■公共用水域水質測定（測定結果を参考に、関係法令に基づき、啓発や指導を行う） ■地下水水質測定 ■桜谷ため池水質・土壌測定 ■自動車騒音常時監視 ■騒音、振動、悪臭測定（関係法令に基づき、啓発や指導を行う） ■公害問題の苦情処理（公害発生源へ改善指導等） ■あき地の土地所有者に雑草等の草刈指導 ■公害発生時の対応（公共水域における油吸収など） ■特定建設作業等の届出窓口						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
公害防止のための監視、啓発、情報提供を行うことによって生活環境を保全する。									
4．成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
公害に関する相談のうち継続しなかった案件の数		件	73	57	70	55			50
公共用水域のＢＯＤが基準値を超えた河川箇所数		箇所	1	1	0	0			0
5．コスト									
事業費	計	千円	5,507	6,246	7,482	7,603			
	国	千円	0		0	0			
	県	千円	596	615	924	1,449			
	地方債	千円	0		0	0			
	その他	千円	0	0	8	8			
	一般	千円	4,911	5,631	6,550	6,146			
正職員人工数		人工	0.9	0.9					
正職員人件費		千円	6,955	7,034					
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)		千円	12,462	13,280	7,482	7,603			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
○あがっている ●どちらかといえばあがっている ○あがっていない（停滞・低下）		相談のうち継続しなかった案件の件数は、前年度よりも16件減少し、57件でした。野外焼却による煙などの相談が多いが、地道な野外焼却の指導を行ってきた結果、昨年度よりも減少したと分析しています。							
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	法定受託事業	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄					
環境基本法及び公害関係法令に基づき事業を行っている。公共用水域水質・地下水水質・自動車騒音を定期的に測定しており、関係法令に定める環境基準値をおおむね満たしている。									